



下げ潮が強く入りやすい大カブ瀬との水道。松島は足場が良く人気の釣り場だけに、クロも釣り人を学習している感じも見受けられた。



この松島は、下げ潮に魚が活発になる感じがあって、潮が合流して流れるので底潮の押しがきついのですが、今はその感じは全然なく逆に釣りやすいです。

またこの松島は、4人ぐらいは収容可能なので、どこでもできますが、今回はBの釣り座でフアラ潮に対応しようと思います。ちなみにAは、下げ潮が速いときに良く、BとCはどちらの潮でもOKです。Dは、ちよつと難しいですが、超遠投もしくは磯際で大物が期待できます。

さつそく仕掛け作りです。仕掛けは、仕掛け図を参照して下さい。

風がときどき強い

がしやすくなっています。

今回初めて使ってみました、足元から遠投まで幅広く使えて、ピンク系の色でオキアミなどとの相性も良い感じでした。

今回は、V9とV10とを混ぜて「V9・V10・V11」で、完璧なマキエサになるのかな？と思います（冗談です）。

〈実釣〉

この日は、長潮で満潮が朝の4時ごろで干潮が10時ごろですが、長潮は時間や潮行きがありません。きりしない日が多く、現に当日も釣り始めの7時ごろも上げの潮行きて、下げ潮がはつきり動いていない感じです。

まずはイスズミ次もその次も、マズイです。まず、ジンタン3号をハリスの真ん中にして1匹目のクロ。小型ながら地グロです。でも、どうも感じが悪いです。エサが必らず盗られるが、魚がぼぼ見えない

竿：スーパープレシード1.25号 5.3m
 リール：2500LBD
 道糸：サンラインブラックストリームマークX 1.75号

ウキ止め
 半円シモリ
 ウキ：釣研ゼクトMR
 B→G3→00→3B
 フカセからまん棒
 イエロー
 B（スタート時）

極小サルカン

G3（スタート時）

ハリス：ブラックストリーム 1.75号 2〜1ヒロ半
 ハリ：グレ3〜5号 黒
 オキアミカラー 赤色
 つや消し



釣研ゼクトMR
 B→G3→00→3B

強風
 ゆる潮
 仕掛けをゆっくり落とす
 3B
 00
 遠投深め

を追加することができません。アタリも明確ですが、もう少しサイズがほしい。

仕掛けをゆっくり落とす
 今度は逆に仕掛けをゆっくり落とす。00のウキに変えてノーガンでウキ止めの糸を干渉しない高さ約二ヒロ分上げて、完全フカセのスルスル仕掛けでゆっくり潮に乗せて流してみると、アタリが出るが乗らない。そこで、確実に乗せるために竿先に来るまでアタリが出てアワせず待つっていると「乗った」。竿先をゆっくり持つていくアタリで慎重にやり取りをして今日1番です。さらに追加しますが、少し流れがきつくなり、しかもシマアジが混ざります。ヤバイです。

▼クロは居着きタイプの黒い地グロと、少しスマートな青っぽい回遊性のワタリグロタイプが交ざっているようだった。こちらはワタリグロのようです。



※「今一番いい仕掛けを作る」を常に考え実行！

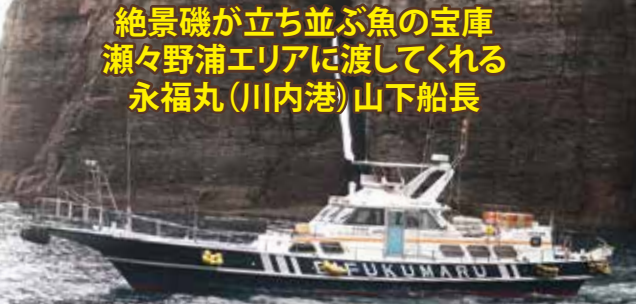
です。潮もほとんど動かず。もしかして、エサ盗り天国？ いや、でもときどきアタるイスズミやクロからすると、そこまでエサ盗りは居ないかな？もしかしてタナが浅いのか？

半信半疑、タナを浅く二ヒロしてみると2匹目のクロ。でもアタリが早かったため、さらに浅く一ヒロ半の固定仕掛けでズバリ3匹目、4匹目、その間にハリを黒からオキアミカラー、赤色という試してみます。

潮がゆっくり左流れ
 少しずつ感じがつかめてきたというより、潮がゆっくりですが、左流れ（下げ潮）になってきたところでBのウキをG3に落として、ハリス二ヒロにジンタン5号を均等打ちして、仕掛けを立ててやるとクロ



タナ3ヒロで遠投
 そこで、まずマキエサを手前に多く4杯ほど入れ、足元に魚を寄せます。そして、沖に1杯もしくは2杯本命用を入れますが、仕掛けチェンジ。00号から一気に3Bのウキに変えてハリス二ヒロにジンタン5号を均等打ちして、タナを約3ヒロで遠投して沖を狙ってそこから流れていくと、沈み瀬の前後で、クロが釣れてきます。しかも連続。そしてさらに今日のクロ。40cm up。しかし、この頃から一気に水温が下がったのか、手前に居たエサ盗りが深くなり動きも悪いです。当然ツケエサもついたままなので、少し早いですが納竿とします。



絶景磯が立ち並ぶ魚の宝庫
 瀬々野浦エリアに渡してくれる
 永福丸(川内港) 山下船長

〈最後に〉

今回、久しぶりに仕掛けをいろいろ変えました。ウキはもちろん、